PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ1 スリーマイル島の国内ガイアナ

1
3月28日、ハリスバーグ近郊のスリーマイル島でベターが開港した。
平日朝は原子力発電所の非常事態となった。

2
設備の故障、混乱した兆候、混乱した冷却について説明した。
オペレーターは急速に悪化した状況に直面しました。

3
彼は冷却障害を意図的な破壊行為と解釈した。
それは彼の主張であり、確かな発見ではなかった。
MAINTENANCE LOGS
OPERATING RECORDS

4
彼はその緊急事態が一般に知られる前に遅れたことを強調した。
家族は朝のルーチンを続けた。
HOOL BUS

5
彼はこの混乱と恐怖を、ガイアナでの以前の悲劇と比較した。
国産のガイアナと呼ばれた。
NEWS DESK

6
彼は放射線の恐れと原子炉への長期的被害について語った。
彼の健康状態は独立した証拠を失っている。

7
原子力への恐怖の高まりに植物閉鎖と中国症候群を結びつけた。
彼はそのタイミングを政治計画の一環として解釈した。
The China Syndrome
NOW PLAYING

8
エネルギー不足が政府の統制拡大に利用されるのではと懸念した。
彼の結論は自由を失った産業危機と結びついた。
ENERGY CRISIS

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ2 二重人"の秘密情報戦争

1 ベターは、この闘争を財政王朝と情報機関の競争だと認識した。



2 彼はロックフェラーの生存者が分裂し脆弱であるという警告を改めて出した。



3 ウォルターとジャン・モンデールの2人組が4月ヨーロッパ旅行を行ったと主張する。



4 モンデールは密かに殺害され、帰還した空軍が墜落したと主張した。



5 また、ジミーとロザリン・カーターの死と交代を隠蔽したと主張する。



6 カーターの4月10日と4月25日を比較し、その声、態度、外観を比較した。



7 彼はアメリカ、ロシア、イギリス、イスラエルの情報系を挙げた。



8 彼は4月22日からワシントン上空に24機のロシア宇宙圏が駐留していると主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ3 最後の呼びかけは「平和の巡礼」

1 ベターは、ブレージネフのホッケーへの出演を、優先順位が変わった兆候と解釈した。



2 彼は、イースターのロシア教会への議会代表団の訪問を引用した。



3 彼はモスクワでハンデルのメシアのパフォーマンスを強調。



4 彼はソゼニツィンの復帰への望みと、ロシアに変化をもたらしたという彼の信念を結びつけた。



5 彼はロシアが抑圧したと表現したにもかかわらず、核戦争を恐れた。



6 彼は教会指導者から、以前の訴えに対するわずかな反応しか報告しなかった。



7 彼は人生のあらゆる場所でキリスト教徒への招待を拡大しました。



8 1979年5月末までには、訪問によって友好関係が築かれることを期待して、返事を求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。